

平成 29 年度

と か ち 広 域 消 防 事 務 組 合  
一 般 会 計 歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 書

と か ち 広 域 消 防 事 務 組 合 監 査 委 員



十消監査第14号  
平成30年10月25日

とちち広域消防事務組合  
組合長 米 沢 則 寿 様

とちち広域消防事務組合  
監査委員 林 伸 英  
監査委員 佐 藤 和 也

平成29年度とちち広域消防事務組合一般会計歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された平成29年度とちち広域消防事務組合一般会計歳入歳出決算を審査したので、別紙のとおり意見を提出します。

# 目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の基本	1
第4	審査の結果	1

## (決算の概要及び意見)

1	決算収支の概要	2
2	予算の執行状況	2
(1)	歳入歳出決算の状況	2
ア	歳入	2
イ	歳出	2
(2)	消防費及び消防施設費の予算執行状況	3
ア	消防費	3
イ	消防施設費	4
(3)	予算対比増減の状況	5
ア	歳入	5
イ	歳出	5
(4)	前年度対比増減の状況	6
ア	歳入	6
イ	歳出	6
(5)	性質別歳出の状況	7
(6)	分担金分賦の状況	7
3	債務負担行為及び組合債の状況	8
(1)	債務負担行為	8
(2)	組合債	8
4	財産の状況	9
(1)	公有財産の状況	9
ア	土地及び建物	9
イ	工作物	9
(2)	物品の状況	9
5	意見	10

## (参考資料)

1	分担金分賦状況調	12
2	火災等出動件数・救急出動・消防指令の状況	13

## 平成29年度とかち広域消防事務組合一般会計決算審査意見

### 第1 審査の対象

平成29年度 とかち広域消防事務組合一般会計歳入歳出決算

### 第2 審査の期間

平成30年8月10日から平成30年10月24日まで

### 第3 審査の基本

決算審査に当たっては、審査に付された一般会計歳入歳出決算書（以下、「決算書」という。）並びに歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書（以下、「決算附属書類」という。）について、

- 1 予算執行・財務処理の適法性、妥当性
- 2 計数の正確性
- 3 財政運営の健全性

の確認を基本とし、審査の重点を次の事項におきました。

- (1) 予算執行状況
- (2) 分賦金の正確性の確認
- (3) 財産の異動及び増減の確認
- (4) 決算書及び決算附属書類の法令準拠並びに計数の確認

### 第4 審査の結果

- 1 平成29年度決算書並びに決算附属書類は、関係法令に準拠して調製され、表示された計数は関係帳簿等と照合等の結果、適正であると認められました。

また、予算の執行については、別に実施した定期監査等において既に報告のとおり、全体を通して適正に執行されているものと認められました。

- 2 現金預金については、地方自治法第235条の2第1項に定める例月現金出納検査において報告のとおり、その残高を確認しました。
- 3 一般会計決算の概要及び意見については、次のとおりであります。

(注)文中の比率は、原則として小数点第1位で表示（単位未満は四捨五入）し、「0.0」と表示したものは、該当値はあるが単位未満のもの、「-」と表示したものは、該当値がないものである。

## 決算の概要及び意見

### 1 決算収支の概要

平成 29 年度における一般会計の決算額は、歳入 5,902,134,410 円に対し、歳出は 5,758,192,445 円で、形式収支は 143,941,965 円となり、実質収支についても同額の黒字となった。

(単位:円)

区分 会計	歳 入 A	歳 出 B	差引額 (形式収支) C=A-B	翌年度 繰越財源 D	実 質 収 支 C-D
一 般 会 計	5,902,134,410	5,758,192,445	143,941,965	0	143,941,965
合 計	5,902,134,410	5,758,192,445	143,941,965	0	143,941,965

### 2 予算の執行状況

#### (1) 歳入歳出決算の状況

##### ア 歳入

歳入決算状況は、予算現額 5,841,819,000 円に対し、収入済額（決算額）は、5,902,134,410 円で、執行率は 101.0%となった。

また、不納欠損額及び収入未済額は生じていなかった。

なお、歳入科目別決算状況は、次表のとおりである。

(単位:円・%)

区分 科目	予算現額 A	決算額 B	増△減額 B-A	執行率 B/A×100
分担金及び負担金	5,766,322,000	5,766,322,000	0	100.0
使用料及び手数料	2,545,000	4,857,600	2,312,600	190.9
国庫支出金	10,219,000	14,549,000	4,330,000	142.4
寄附金	100,000	100,000	0	100.0
繰越金	31,411,000	84,420,211	53,009,211	268.8
諸収入	28,622,000	29,885,599	1,263,599	104.4
組合債	2,600,000	2,000,000	△ 600,000	76.9
合 計	5,841,819,000	5,902,134,410	60,315,410	101.0

##### イ 歳出

歳出決算状況は、予算現額 5,841,819,000 円に対し、支出済額（決算額）は、5,758,192,445 円で、執行率は 98.6%となり、83,626,555 円の不用額が生じた。

なお、各会計の歳出科目別決算状況は、次表のとおりである。

(単位:円・%)

区分 科目	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A×100
議会費	896,000	869,660	26,340	97.1
総務費	18,745,000	17,644,406	1,100,594	94.1
消防費	551,457,000	523,210,721	28,246,279	94.9
消防施設費	125,516,000	119,702,385	5,813,615	95.4
公債費	519,000	97,506	421,494	18.8
職員費	5,142,686,000	5,096,667,767	46,018,233	99.1
予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0
合 計	5,841,819,000	5,758,192,445	83,626,555	98.6

(2) 消防費及び消防施設費の予算執行状況

ア 消防費

決算額は、523,210,721円で、前年度と比較して69,513,832円15.3%増加した。

予算執行の主な内容は、指令センター費101,790,385円、帯広消防署費93,562,455円及び音更消防署費38,750,481円である。

予算執行の内容を節・細節別に見ると、主なものは、委託料123,157,703円、消耗品費（需用費）70,083,623円及び燃料費（需用費）67,991,758円である。

また、予算現額に対する執行率は94.9%で、28,246,279円の不用額が生じた。

なお、科目ごとの予算執行状況は、次表のとおりである。

(単位：円・%)

科 目	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A ×100	翌年度 繰越額 C	不用額 A-B-C	前年度 決算額 D	対前年度 増△減 B-D
消防局費	4,483,000	4,296,631	95.8	0	186,369	4,234,315	62,316
指令センター費	102,493,000	101,790,385	99.3	0	702,615	25,759,628	76,030,757
帯広消防署費	95,403,000	93,562,455	98.1	0	1,840,545	94,521,360	△ 958,905
音更消防署費	39,473,000	38,750,481	98.2	0	722,519	42,891,635	△ 4,141,154
士幌消防署費	18,304,000	16,577,650	90.6	0	1,726,350	19,685,797	△ 3,108,147
上士幌消防署費	13,421,000	11,073,089	82.5	0	2,347,911	11,145,417	△ 72,328
鹿追消防署費	14,058,000	13,252,617	94.3	0	805,383	12,449,315	803,302
新得消防署費	13,062,000	12,288,966	94.1	0	773,034	14,819,211	△ 2,530,245
清水消防署費	31,030,000	29,871,170	96.3	0	1,158,830	22,260,662	7,610,508
芽室消防署費	30,591,000	29,080,155	95.1	0	1,510,845	30,515,760	△ 1,435,605
中札内消防署費	10,224,000	9,680,421	94.7	0	543,579	10,058,092	△ 377,671
更別消防署費	10,832,000	9,736,325	89.9	0	1,095,675	12,701,514	△ 2,965,189
大樹消防署費	14,716,000	13,822,103	93.9	0	893,897	13,204,672	617,431
広尾消防署費	18,289,000	17,500,536	95.7	0	788,464	22,452,833	△ 4,952,297
幕別消防署費	25,135,000	23,941,625	95.3	0	1,193,375	31,462,349	△ 7,520,724
池田消防署費	21,549,000	18,384,647	85.3	0	3,164,353	14,308,559	4,076,088
豊頃消防署費	15,070,000	13,520,505	89.7	0	1,549,495	11,921,739	1,598,766
本別消防署費	13,259,000	12,451,268	93.9	0	807,732	9,296,219	3,155,049
足寄消防署費	22,963,000	20,229,980	88.1	0	2,733,020	19,444,851	785,129
陸別消防署費	18,387,000	16,222,385	88.2	0	2,164,615	12,437,280	3,785,105
浦幌消防署費	18,715,000	17,177,327	91.8	0	1,537,673	18,125,681	△ 948,354
合 計	551,457,000	523,210,721	94.9	0	28,246,279	453,696,889	69,513,832

## イ 消防施設費

決算額は、119,702,385 円で、前年度と比較して 252,995,355 円 67.9%減少した。

予算執行の主な内容は、更別消防施設費 44,343,900 円、広尾消防施設費 35,271,072 円及び帯広消防施設費 7,016,686 円である。

主な整備内容は、更別消防施設費の高規格救急自動車更新 41,580,000 円、広尾消防施設費の高規格救急自動車更新 34,884,000 円及び浦幌消防施設費の指揮広報車更新 6,046,380 円である。

また、予算現額に対する執行率は 95.4%で、5,813,615 円の不用額が生じた。

なお、科目ごとの予算執行状況及び主な整備内容は、次表のとおりである。

(単位：円・%)

科 目	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A ×100	翌年度 繰越額 C	不用額 A-B-C	前年度 決算額 D	対前年度 増△減 B-D	主な整備内容
帯広消防施設費	7,844,000	7,016,686	89.5	0	827,314	88,323,974	△ 81,307,288	出張所外壁全面改修 消防庁舎自動火災報知機 修繕
音更消防施設費	958,000	834,204	87.1	0	123,796	64,485,413	△ 63,651,209	
士幌消防施設費	2,657,000	1,605,412	60.4	0	1,051,588	1,937,520	△ 332,108	庁舎車庫シャッター 改修工事
上士幌消防施設費	159,000	100,340	63.1	0	58,660	4,650,004	△ 4,549,664	
鹿追消防施設費	124,000	108,419	87.4	0	15,581	66,461	41,958	
新得消防施設費	899,000	466,917	51.9	0	432,083	415,971	50,946	
清水消防施設費	2,031,000	2,025,081	99.7	0	5,919	51,966,127	△ 49,941,046	
芽室消防施設費	6,456,000	6,318,518	97.9	0	137,482	4,889,550	1,428,968	自動体外式除細動器購入
中札内消防施設費	28,000	27,540	98.4	0	460	2,232,057	△ 2,204,517	
更別消防施設費	45,264,000	44,343,900	98.0	0	920,100	23,348,876	20,995,024	高規格救急自動車更新 消火栓改修工事
広尾消防施設費	35,375,000	35,271,072	99.7	0	103,928	8,620,236	26,650,836	高規格救急自動車更新
幕別消防施設費	5,422,000	4,345,920	80.2	0	1,076,080	8,261,800	△ 3,915,880	消火栓取替工事負担金
豊頃消防施設費	1,778,000	1,674,000	94.2	0	104,000	15,195,490	△ 13,521,490	消防用サイレン更新工事
本別消防施設費	3,846,000	3,596,303	93.5	0	249,697	278,100	3,318,203	自動体外式除細動器購入
足寄消防施設費	2,006,000	1,792,320	89.3	0	213,680	1,398,147	394,173	
陸別消防施設費	4,293,000	3,955,041	92.1	0	337,959	6,702,468	△ 2,747,427	屋外訓練場照明増設工事 電話設備工事
浦幌消防施設費	6,376,000	6,220,712	97.6	0	155,288	1,436,076	4,784,636	指揮広報車更新
指令センター 消防施設費	-	-	-	-	-	9,687,600	△ 9,687,600	
大樹消防施設費	-	-	-	-	-	78,801,870	△ 78,801,870	
合 計	125,516,000	119,702,385	95.4	0	5,813,615	372,697,740	△ 252,995,355	

(3) 予算対比増減の状況

ア 歳入

予算執行の結果、予算額に対して 5,000,000 円以上の増減が生じた科目は、次表のとおりである。

<5,000,000円以上の増減が生じたもの>

(単位:円)

科目 (款及び目)	予算額 A	決算額 B	増△減額 B-A	主な増△減理由
繰越金 繰越金	31,411,000	84,420,211	53,009,211	前年度繰越金の増

また、予算額に対して 1,000,000 円以上の増加となったものは 4 件で 60,946,248 円であり、減少となったものはなかった。

なお、1,000,000 円以上の増減が生じたものの年度別対比は、次表のとおりである。

<1,000,000円以上の増減が生じたものの件数及び金額>

(単位:件・円)

区分	年度	平成29年度		平成28年度		増△減	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
予算対比増		4	60,946,248	0	0	4	60,946,248
予算対比減		0	0	0	0	0	0

イ 歳出

予算執行の結果、予算額に対して 5,000,000 円以上の増減が生じた科目は、次表のとおりである。

<5,000,000円以上の増減が生じたもの>

(単位:円)

科目 (款及び目)	予算額 A	決算額 B	増△減額 B-A	主な増△減理由
職員費 職員給与費	5,142,686,000	5,096,667,767	△ 46,018,233	職員構成の変動による減

また、予算額に対して 1,000,000 円以上の増加となったものはなく、減少したものは 16 件で 71,305,006 円である。

なお、1,000,000 円以上の増減が生じたものの年度別対比は、次表のとおりである。

<1,000,000円以上の増減が生じたものの件数及び金額>

(単位:件・円)

区分	年度	平成29年度		平成28年度		増△減	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
予算対比増		0	0	0	0	0	0
予算対比減		16	71,305,006	12	73,000,227	4	△ 1,695,221

(4) 前年度対比増減の状況

ア 歳入

歳入決算額は5,902,134,410円で、前年度と比較して160,578,020円、2.6%減少した。

これは主として、前年度繰越金の増により繰越金が77,981,983円増加したが、起債対象事業の減により組合債が220,100,000円減少したことによるものである。

なお、歳入科目別前年度対比増減状況は、次表のとおりである。

(単位:円・%)

科目	年度 平成29年度 A	平成28年度 B	増△減額 C = A - B	増△減率 C / B × 100
分担金及び負担金	5,766,322,000	5,726,932,000	39,390,000	0.7
使用料及び手数料	4,857,600	4,635,700	221,900	4.8
国庫支出金	14,549,000	-	14,549,000	皆増
寄附金	100,000	-	100,000	皆増
繰越金	84,420,211	6,438,228	77,981,983	1,211.2
諸収入	29,885,599	102,606,502	△ 72,720,903	△ 70.9
組合債	2,000,000	222,100,000	△ 220,100,000	△ 99.1
合計	5,902,134,410	6,062,712,430	△ 160,578,020	△ 2.6

イ 歳出

歳出決算額は5,758,192,445円で、前年度と比較して220,099,774円、3.7%減少した。

これは主として、消防救急デジタル無線システム及び十勝圏高機能消防指令システム保守業務委託料の増により消防費が69,513,832円増加したが、消防及び救急用車両更新に係る備品購入費の減により消防施設費が252,995,355円及び旧消防組合解散に伴う清算が完了したことにより旧消防組合清算費が33,711,702円減少したことによるものである。

なお、歳出科目別前年度対比増減状況は、次表のとおりである。

(単位:円・%)

科目	年度 平成29年度 A	平成28年度 B	増△減額 C = A - B	増△減率 C / B × 100
議会費	869,660	863,378	6,282	0.7
総務費	17,644,406	25,833,807	△ 8,189,401	△ 31.7
消防費	523,210,721	453,696,889	69,513,832	15.3
消防施設費	119,702,385	372,697,740	△ 252,995,355	△ 67.9
公債費	97,506	0	97,506	皆増
職員費	5,096,667,767	5,091,488,703	5,179,064	0.1
旧消防組合清算費	-	33,711,702	△ 33,711,702	皆減
合計	5,758,192,445	5,978,292,219	△ 220,099,774	△ 3.7

(5) 性質別歳出の状況

歳出決算状況についてこれを性質別にみると、義務的経費（人件費・扶助費・公債費）は3,625,235,069円で、前年度と比較して62,471,646円、1.8%増加し、決算額に占める比率も、前年度より3.3ポイント上昇して62.9%となった。

これは主として、人件費が前年度と比較して61,454,140円、1.7%増加したことによるものである。

義務的経費以外では、物件費が38,126,638円、8.3%増加したが、投資的経費が消防及び救急用車両更新費用の減などにより230,716,362円、68.2%減少したほか、補助費等も職員人件費負担金の減などにより83,214,318円、5.2%減少した。

なお、性質別経費の前年度対比状況は、次表のとおりである。

(単位:円・%)

区 分	平成29年度		平成28年度		対前年度増△減	
	決算額	構成比	決算額	構成比	金額	率
義務的経費	3,625,235,069	62.9	3,562,763,423	59.6	62,471,646	1.8
人件費	3,576,487,563	62.1	3,515,033,423	58.8	61,454,140	1.7
扶助費	48,650,000	0.8	47,730,000	0.8	920,000	1.9
公債費	97,506	0.0	0	0.0	97,506	皆増
物件費	495,362,527	8.6	457,235,889	7.6	38,126,638	8.3
維持補修費	11,085,100	0.2	17,852,478	0.3	△ 6,767,378	△ 37.9
補助費等	1,519,126,969	26.4	1,602,341,287	26.8	△ 83,214,318	△ 5.2
投資的経費	107,382,780	1.9	338,099,142	5.7	△ 230,716,362	△ 68.2
合 計	5,758,192,445	100.0	5,978,292,219	100.0	△ 220,099,774	△ 3.7

(6) 分担金分賦の状況

構成市町村からの分担金は、共通経費（消防局・組合職員人件費等）が667,901,000円、各消防署の個別経費（消防費、消防施設費、消防署職員人件費等）が5,098,421,000円で、合わせて5,766,322,000円となり、前年度5,726,932,000円に対して39,390,000円、0.7%増加した。

### 3 債務負担行為及び組合債の状況

#### (1) 債務負担行為

債務負担行為の決算年度末残高は23,796,256円で、前年度末と比較して7,560,716円、24.1%減少した。

新規設定及び今後支出予定額が変更されたものはなく、解消額は7,560,716円である。  
なお、債務負担行為の状況については、次表のとおりである。

(単位:円)

区分	年度 平成28年度末 残 高	平 成 29 年 度		平成29年度末 残 高	対前年度 増 △ 減
		新規及び 変 更	解 消		
清掃業務委託(帯広消防署)	13,834,800	0	2,685,188	11,149,612	△ 2,685,188
清掃業務委託(音更消防署)	15,200,352	0	3,800,088	11,400,264	△ 3,800,088
北海道市町村備荒資金組合 (車両の譲渡代金)(音更消防署)	1,104,000	0	552,000	552,000	△ 552,000
庁舎用電話機器貸借事業 (芽室消防署)	543,900	0	186,480	357,420	△ 186,480
パソコン貸借事業(芽室消防署)	673,920	0	336,960	336,960	△ 336,960
合 計	31,356,972	0	7,560,716	23,796,256	△ 7,560,716

#### (2) 組合債

組合債の決算年度末残高は224,100,000円となり、前年度末と比較して2,000,000円、0.9%増加した。

決算年度に借入れを行ったものは、帯広消防署の出張所外壁全面改修2,000,000円である。

なお、組合債の借入状況については、次表のとおりである。

(単位:円)

区分	年度 平成28年度末 残 高	平 成 29 年 度		平成29年度末 残 高	対前年度 増 △ 減
		借 入	償 還		
帯 広 消 防 署	80,400,000	2,000,000	0	82,400,000	2,000,000
音 更 消 防 署	59,200,000	0	0	59,200,000	0
清 水 消 防 署	26,000,000	0	0	26,000,000	0
大 樹 消 防 署	34,800,000	0	0	34,800,000	0
広 尾 消 防 署	21,700,000	0	0	21,700,000	0
合 計	222,100,000	2,000,000	0	224,100,000	2,000,000

#### 4 財産の状況

##### (1) 公有財産の状況

###### ア 土地及び建物

土地及び建物については、決算年度中の増減はなかった。

###### イ 工作物

工作物については、防火水槽 2 基を譲与したことにより、決算年度末現在高は、2,931,374,466 円となった。

##### (2) 物品の状況

物品については、自動体外式除細動器の購入や高規格救急自動車の更新により、決算年度末現在高は 41 台となった。

なお、財産の決算年度中の増減状況は、次表のとおりである。

区 分	種 類	単 位	平成 28 年度末 現 在 高	平成 29 年度中増△減高			平成 29 年度末 現 在 高
				増 加	減 少	増 △ 減	
公 有 財 産	土 地	m <sup>2</sup>	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	建 物	m <sup>2</sup>	117.07	0.00	0.00	0.00	117.07
	工 作 物	円	2,953,082,466	0	21,708,000	△ 21,708,000	2,931,374,466
物 品		台	24	17	0	17	41

## 5 意見

平成 29 年度の一般会計決算について審査した結果、予算執行及び財務処理の適法性並びに計数の正確性は適正であると確認しました。

事業運営につきましては、高規格救急自動車の更新など消防施設・設備の整備に取り組まれました。

また、台風 18 号や清水町で起きた大型観光バス転落事故への対応において、迅速な救助活動が行われたことは、広域化のメリットを発揮し署所間連携が図られた結果と評価いたします。

近年相次いでいる地震や台風等の大規模災害に適切に対応するためには、更なる消防体制の充実・強化に加えて、構成市町村や消防団などの関係団体との連携がますます重要になってきます。

今後とも、将来にわたり住民の安心・安全な暮らしを支えていくため、関係団体と連携を図られながら消防力の向上に取り組まれますとともに、「十勝圏広域消防運営計画」を着実に推進され、十勝圏域における消防行政の円滑な運営に努められますよう期待いたします。

参 考 资 料

# 1 分担金分賦状況調

(単位:円)

市町村	区分	共通経費	個別経費	各市町村 分担金合計
帯広市		296,478,000	1,334,183,000	1,630,661,000
音更町		62,811,000	438,092,000	500,903,000
士幌町		15,437,000	156,158,000	171,595,000
上士幌町		14,668,000	155,873,000	170,541,000
鹿追町		14,405,000	145,364,000	159,769,000
新得町		16,823,000	163,123,000	179,946,000
清水町		21,068,000	289,457,000	310,525,000
芽室町		31,661,000	266,938,000	298,599,000
中札内村		12,264,000	123,959,000	136,223,000
更別村		11,282,000	176,643,000	187,925,000
大樹町		14,718,000	166,484,000	181,202,000
広尾町		18,127,000	223,925,000	242,052,000
幕別町		44,693,000	468,356,000	513,049,000
池田町		17,610,000	168,066,000	185,676,000
豊頃町		12,916,000	149,162,000	162,078,000
本別町		16,638,000	173,891,000	190,529,000
足寄町		18,032,000	196,142,000	214,174,000
陸別町		10,656,000	135,454,000	146,110,000
浦幌町		17,614,000	167,151,000	184,765,000
合 計		667,901,000	5,098,421,000	5,766,322,000

## 【説明】

- ・共通経費の主なものは、消防局・組合職員の職員費及び指令センター費である。
- ・指令センター費は、消防デジタル無線及び指令センター整備費を人口等による負担割合により算出している。
- ・個別経費は、消防署の職員費及び各消防署が執行する消防署費、消防施設費等の経費である。

## 2 火災等出動件数・救急出動・消防指令の状況

(単位:件・人)

市町村(消防署)	区分	火災等 出動件数	救急出動・搬送状況		消防指令件数 (発生市町村)
			出動件数	搬送人数	
帯 広 市		317	7,441	6,643	7,799
音 更 町		48	1,511	1,429	1,681
士 幌 町		16	274	266	271
上 士 幌 町		17	244	240	265
鹿 追 町		15	215	211	213
新 得 町		26	255	241	287
清 水 町		57	357	346	458
芽 室 町		46	739	748	799
中 札 内 村		9	171	167	164
更 別 村		7	96	93	106
大 樹 町		22	237	229	261
広 尾 町		34	329	324	379
幕 別 町		43	1,151	1,094	1,197
池 田 町		21	338	326	359
豊 頃 町		11	145	132	164
本 別 町		19	401	380	419
足 寄 町		24	385	384	419
陸 別 町		10	135	130	133
浦 幌 町		21	193	184	244
管 外 出 動		-	-	-	5
合 計		763	14,617	13,567	15,623

※ 火災等出動件数、救急出動・搬送件数は、「平成29年版消防年報」の数値によるため、平成29年1月1日から平成29年12月31日の数値である。

※ 消防指令件数のうち、市町村の区域を超えた指令件数は、594件である。